

頭部のケガ

頭が重たくて、手足の機能が未熟な乳幼児では、転倒などにより頭部や顔面をケガすることが多くなります。今回は頭部のケガ、①頭部打撲②鼻出血③顔面のケガについてご説明します。

- ① 頭部打撲：打撲直後に啼泣し、時間がたつにつれて、もとの機嫌に戻っていくようであれば、軽度の腫れ（たんこぶ）があっても、経過をみて大丈夫です。一過性、もしくは継続的に意識消失・低下がみられた場合、時間と共に増悪する頭痛・不機嫌、繰り返す嘔吐、このような場合は頭の中に異常が起きているサインの可能性があり、早めに病院を受診しましょう。
- ② 鼻出血：鼻血をたくさん飲み込むと気分が悪くなり嘔吐します。まず、鼻血が喉に流れ込まないように、座らせてうつむきかげんにします。出血しているのが左右どちらか解れば、出血している側の鼻の軟らかい部分（軟骨部）を親指で強く、出血側が解らなければ両側を親指と人差し指でつまむようにして 5 分程度圧迫します。ほとんどの鼻出血はこのやり方で止めることができます。押さえたり離したりを繰り返しているといつまでも止まらなくなりますので、時間を計ってきっちり 5 分押さえましょう。5 分たっても出血が続く場合は耳鼻科を受診しましょう。
- ③ 顔面のケガ：砂などの汚れを残さないよう水道水などでよく流します。その後タオルなどで圧迫止血します。擦り傷程度であれば、市販のハイドロコロイド（キズパワーパッド等）を貼るだけで問題ありません。傷が深くパッキリ割れている場合は縫合が必要になることがありますので洗浄後、圧迫止血をしながら病院を受診しましょう。

ケガをせずに大きくなる子はいません。しっかりと対処法を覚えておきましょう。また、判断に悩む場合は無理せず病院を受診するようにしましょう。